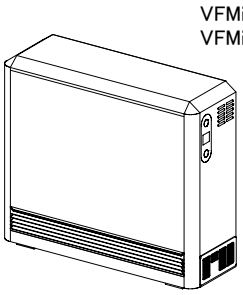
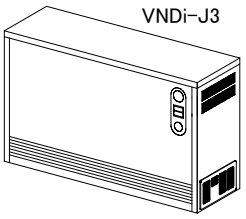
Dimplex®





電気蓄熱暖房器ユニデール

取扱説明書（保証書付）

温風式
VFMi-J3シリーズ
VFMi-J3-5シリーズ
VNDi-J3シリーズ

型番
VFMi 20J3　VFMi 20J3-5　VNDi 36J3
VFMi 30J3　VFMi 30J3-5　VNDi 50J3
VFMi 40J3　VFMi 40J3-5
VFMi 50J3　VFMi 50J3-5
VFMi 60J3
VFMi 70J3

- この度は、電気蓄熱暖房器ユニデールをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

もくじ

ページ

ご使用まえに
安全上のご注意 …… 2
本機の特長 …… 4
各部の名称 …… 5
コントローラーの名称と機能 …… 6

おもな操作のしかた
初めて使用される場合は …… 7
蓄熱運転 …… 7
暖房運転 …… 8
別売品　外付ルームサーモスタット …… 9
「ユニデール」の上手な使い方 …… 9

必要なとき
お手入れ …… 10
故障かな？と思ったら …… 11
仕様 …… 12
保証とアフターサービス …… 13
保証書 …… 15
お客様ご相談窓口のご案内 …… 16

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

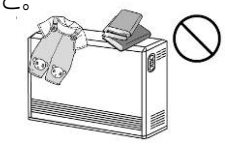
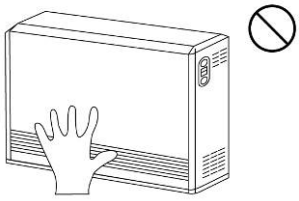
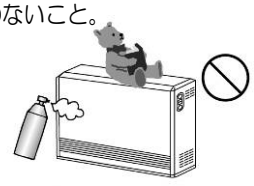
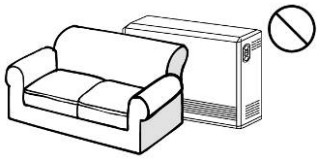
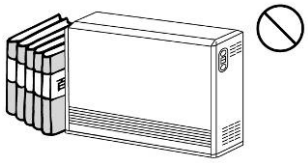
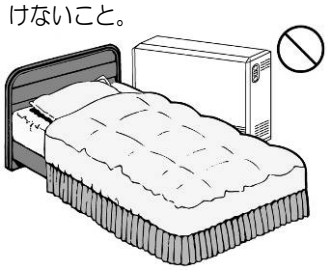
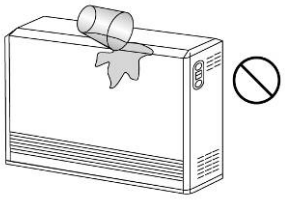
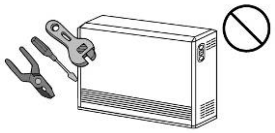
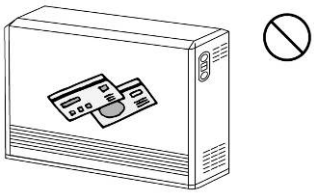
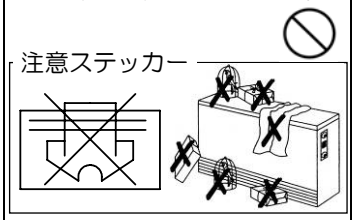
⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、又は物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

🚫 禁止図記号 ‥‥‥‥ 製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号。

❗ 指示図記号 ‥‥‥‥ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号。

⚠ 警告

上部（天板）に物を置かないこと。衣類など本体にかけて乾かさないこと。  火災のおそれがあります。また、安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。	吹出し口を手で触らないこと。  やけどのおそれがあります。	塗料、シンナーなど引火性の物を近づけないこと。おもちゃやカーテンなど燃えやすい物をそばで使わないこと。  火災、爆発のおそれがあります。	前面に物を置いて吹出し口をふさがないこと。  正面グリルをふさぐと機器（吹出温度過昇防止装置、ルームサーモスタット）が誤作動し故障の原因になります。
本体と壁の間に物を入れないこと。本体に接触して物を置かないこと。  火災のおそれがあります。	吹出し口に座布団や寝床を近づけないこと。  火災のおそれがあります。	水をかけたりしないこと。  絶縁劣化により漏電、感電、火災のおそれがあります。	本体の分解、改造を行わないこと。衝撃を与えないこと。  感電、やけど、火災のおそれがあります。修理が必要な時は販売店にご相談ください。
磁気カードを近づけないこと。  誤作動、故障の原因となります。	吹出し口や吸込み口に金属などの異物を入れないこと。 爆発、火災のおそれがあります。	スプレーなどの缶を本体の近くに置かないこと。 爆発、火災のおそれがあります。	本体に物を被せないこと。また、吹出し口付近に物を置かないこと。  火災のおそれがあります。また、安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。

🚫 **本体表面に結露が生じる場所、水濡れや湯煙がある場所で使用しないこと。**
絶縁劣化により漏電、感電、火災のおそれがあります。

🚫 **間接的でも長時間人体を接触させないこと。**
やけどのおそれがあります。

❗ **アース、漏電遮断装置の工事が行われていること。**
そのまま使用すると感電のおそれがあります。また、異常時などの場合、漏電遮断装置を「切」にしないでそのまま使用すると故障や感電、災害の原因になります。

❗ **転倒防止金具（ブラケット）が正しく取りつけられ、本体がしっかりと固定されていること。**
固定されていないと地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。

⚠ 注意

運転中は操作部以外は触らないこと。
やけどのおそれがあります。

幼児や体の不自由な方は、付き添いなしのご使用は避けること。
やけどのおそれがあります。

暖房以外の目的で使用しないこと。
感電・火災・やけどのおそれがあります。

電源コードなどを無理に引っ張らないこと。
感電・火災のおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナーなどの溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

取付作業は、専門の設置業者が行うこと。
機器の転倒や火災・感電のおそれがあります。

配線工事は、有資格の電気工事業者が行なうこと。
感電のおそれがあります。

異常が感じられるときは、ブレーカを「切」にすること。
異常のまま使用すると故障や感電、火災のおそれがあります。

電源コードが破損した場合の修理は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

本体表面の清掃は、必ずブレーカーを「切」にし本体を冷ましてから行うこと。
感電・やけどのおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

本体付近の壁紙などは熱で変色しない物を使用すること。
本体の熱で壁紙などが変色するおそれがあります。

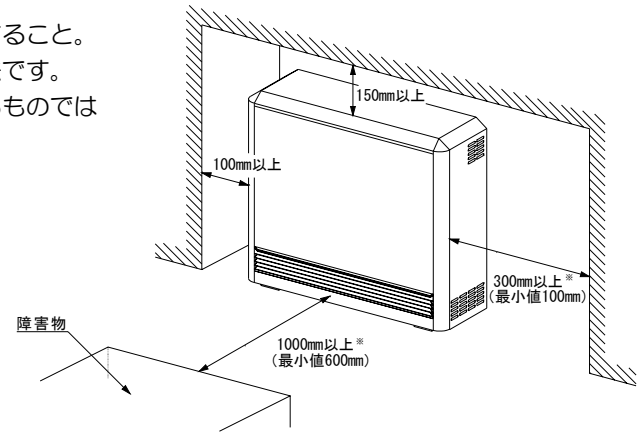
※ 空気中の温度差によってできる上昇気流の影響による熱やほこりなどによって
壁面が変色する場合もあります。

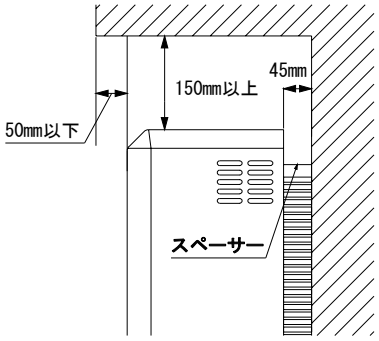
⚠離隔距離に関しての注意

カーテンなどの可燃物に対して以下の離隔距離を確保すること。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材などの変色・変形しないことを保障するものではありません。

- 左面方向 ····· 100mm 以上
- 右面方向 ····· 300mm 以上※
  （最小値 100mm）
- ならべて設置する場合 ····· 300mm 以上
- 上面方向 ····· 150mm 以上
- 背面方向 ····· 45mm
  （付属の壁付け用スペーサーで確保します。）
- 前面方向 ····· 1000mm 以上※
  （最小値 600mm）

※メンテナンススペースとして必要です。

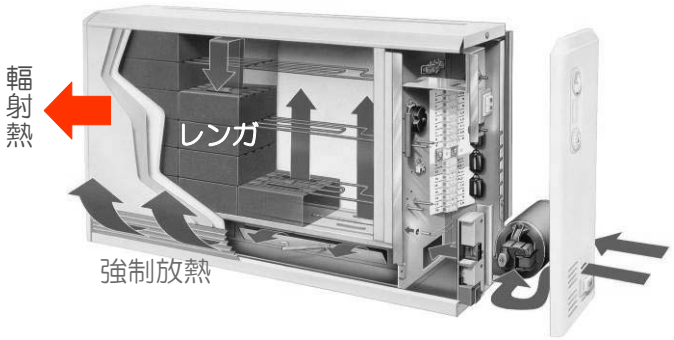




本機の特長

電気蓄熱暖房器ユニデールVFMｉシリーズ、VNDｉシリーズ（ローボーイ型）は、
深夜電力（２００Ｖ）を使用して蓄熱レンガに熱を蓄え、暖房器本体表面からの輻射熱とファン（１００Ｖ）による温風でお部屋を暖めます。
電気ヒーターによる暖房のため排気による空気の汚れがなく、クリーンです。

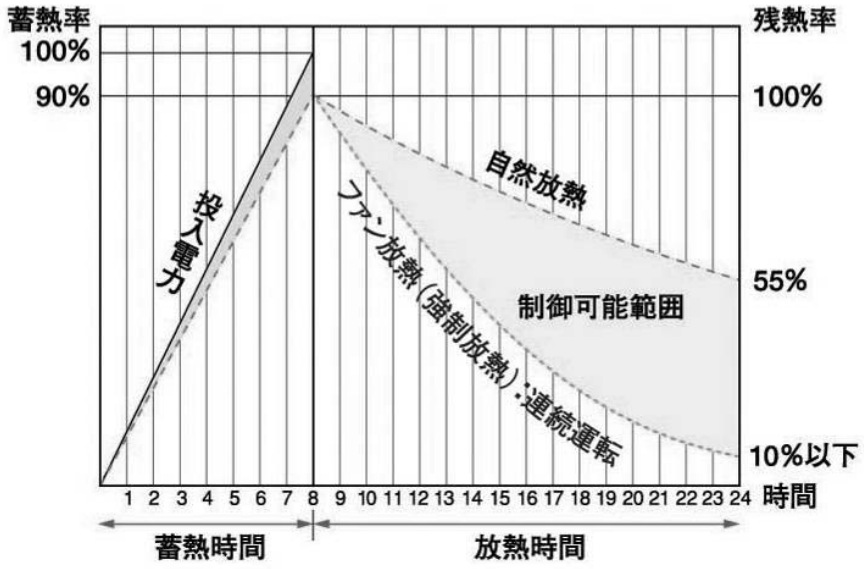
※ 電源は２００Ｖと１００Ｖを使用します。



クリーン	燃焼部分がない為、排気ガスによって空気を汚すことがありません。
蓄熱量調節機能	蓄熱コントローラーを設定（手動）する事により蓄熱量を制御します。
室温調節機能	室温コントローラーを設定（手動）する事により室温を一定に保ちます。
快適暖房	本体表面からの輻射熱により室内をムラなく暖めます。また、低風速ファンによる温風対流は足元から暖める快適な環境を提供するとともに、ドアの開閉や換気などによる熱負荷の変動に対応し快適な室温を維持します。
外付けルームサーモスタット(オプション)	暖房器本体から離れた場所で、室温感知及び操作することができます。

暖房器の放熱特性は、下記のグラフのように制御可能範囲で暖房することができます。

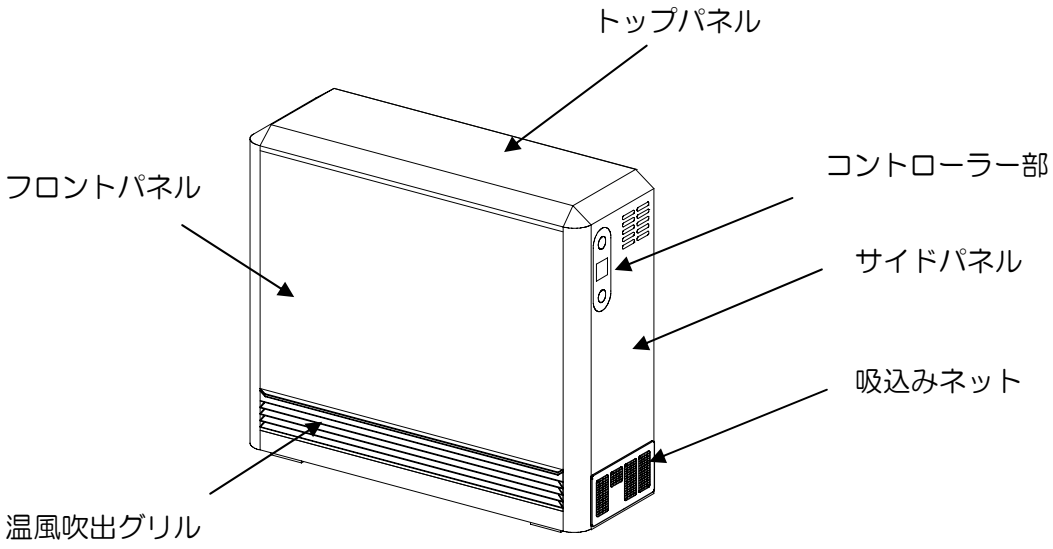
・自然放熱 ‥‥‥‥ ファンを運転しない場合、残熱量は約５５％になります。
・強制放熱 ‥‥‥‥ ファンを連続運転（１日中）している場合、残熱量は１０％以下になります。



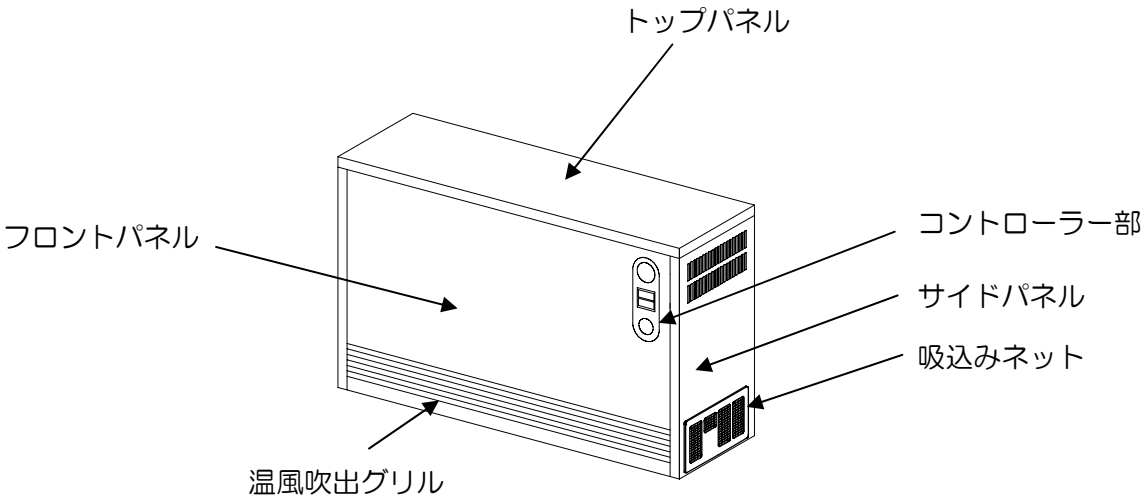
※ 窓を開け放しにするなど、室温を低くすると残熱量は表記以下になるおそれがありますのでご注意ください。

各部の名称

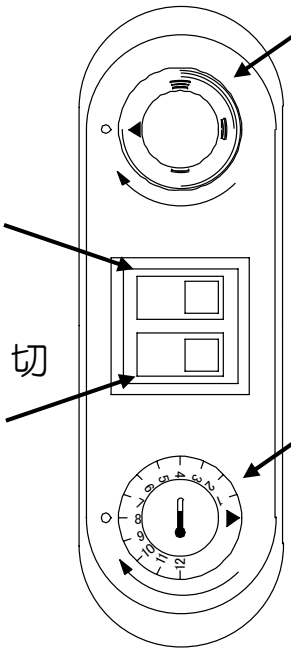
＜標準型＞



＜ローボーイ型＞



コントローラーの名称と機能



蓄熱コントローラー

蓄熱量を制御するコントローラーです。
矢印方向へ回転させることにより、
蓄熱量が増加していきます。

ファンスイッチ

パイロットランプが
点灯している状態で「入」となり
消灯している状態で「切」となります。
入：ファン自動運転
切：ファン停止

スイッチ（未使用）

使用しないスイッチです。
常に「切」にしてください。

室温コントローラー

ファンによる強制放熱の入・切を室温にあわせて行います。
矢印方向に回転させることにより設定室温が増加していきます。
10℃～30℃の温度制御が可能です。

■ 蓄熱量の設定

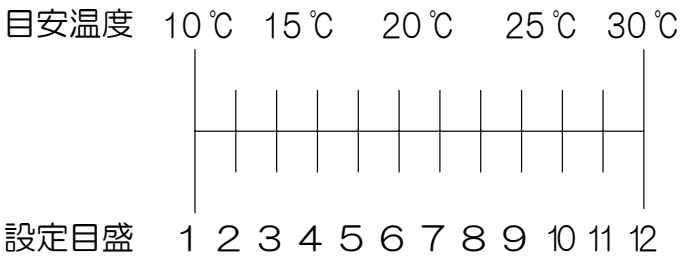
コントローラー設定	蓄熱量	目　　安
▲	ー	長時間使用しない時期
(	40%	春や秋などのわずかな暖房が必要な時期
((	70%	初冬などの比較的寒さの厳しくない時期
(((	100%	真冬など昼夜を通して暖房が必要な時期

※ 蓄熱量を低めに設定されたほうが経済的ですが、外気温の変動が大きいときなど、蓄熱量が不足する場合があります。

※ 蓄熱時間帯は蓄熱量不足を防ぐため、ファンスイッチを「切」に設定してください。

■ 室温の設定

ファンスイッチを「入」にして室温コントローラーで室温設定を設定します。
温度の目安は下図を参照ください。
※温度はあくまで目安温度です。

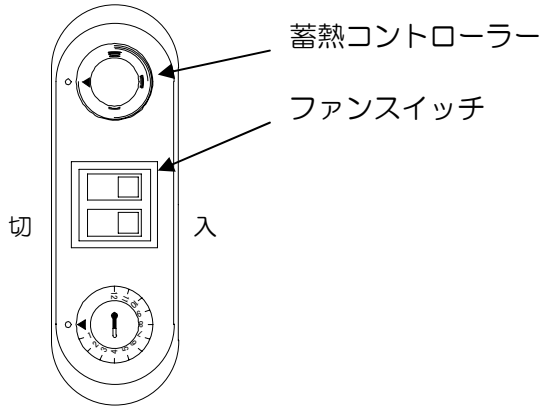


■ シーズンオフ

長時間お使いにならない時は蓄熱量を「0」、ファンスイッチを「切」、電源ブレーカー（２００V）を「切」にしてください。

初めて使用される場合は･･･

① 200V 電源ブレーカーを「入」に設定し、ファンスイッチを「切」にしてください。
② 蓄熱コントローラーを「（ 」にセットしてください。



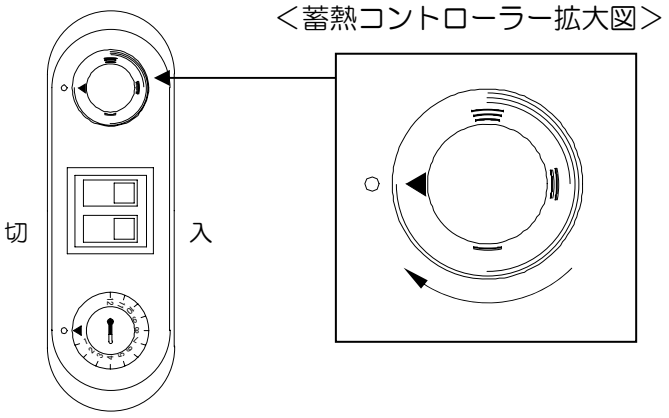
※ 初めてお使いになる場合、長期間使用していなかった場合にはホコリや湿気でにおいがでる場合があります。
※ 初めて蓄熱する場合、または長期間使用していなかった場合は、下記の要領でご使用してください。

	蓄熱コントローラー目盛
1日目	(
2日目	((
3日目	(((

蓄熱運転

蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。
蓄熱量を制御するコントローラーを図の様に矢印方向に回転させる事により蓄熱量が増加していきます。

◀ ：切
（ ：40%蓄熱
((：70%蓄熱
(((：100%蓄熱

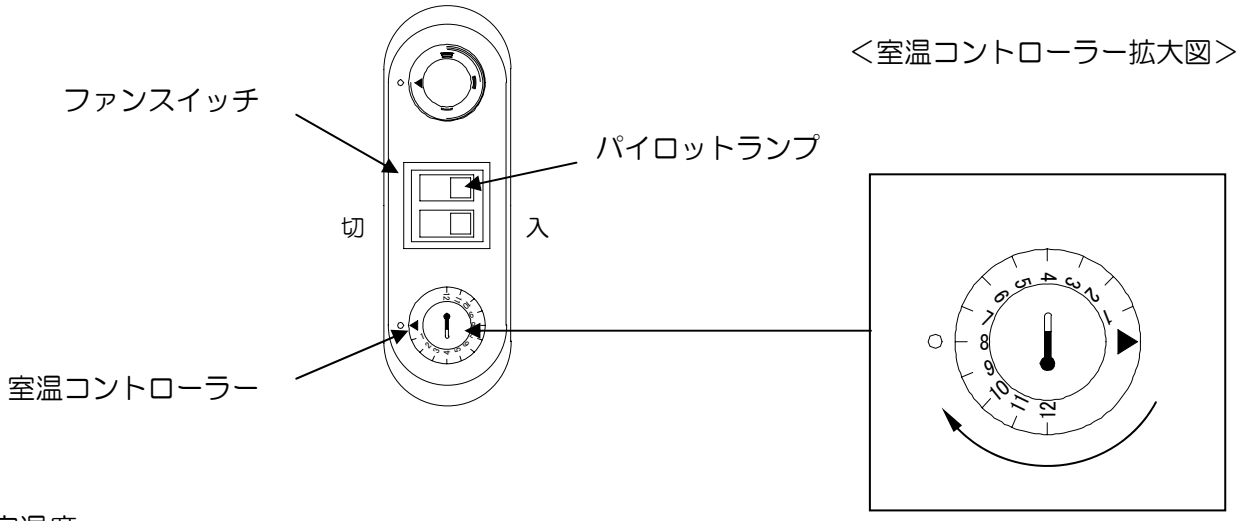


暖房運転

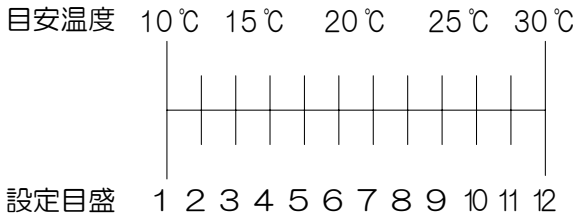
放熱量を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。

ファンによる強制放熱の入・切を室温に合わせて行います。パイロットランプが点灯している状態で「入」、消灯している状態で「切」になります。図の様に、矢印方向に回転させることにより設定室温が増加していきます。

※温度制御範囲は、１０℃～３０℃です。１目盛２℃程度が目安になります。



設定温度

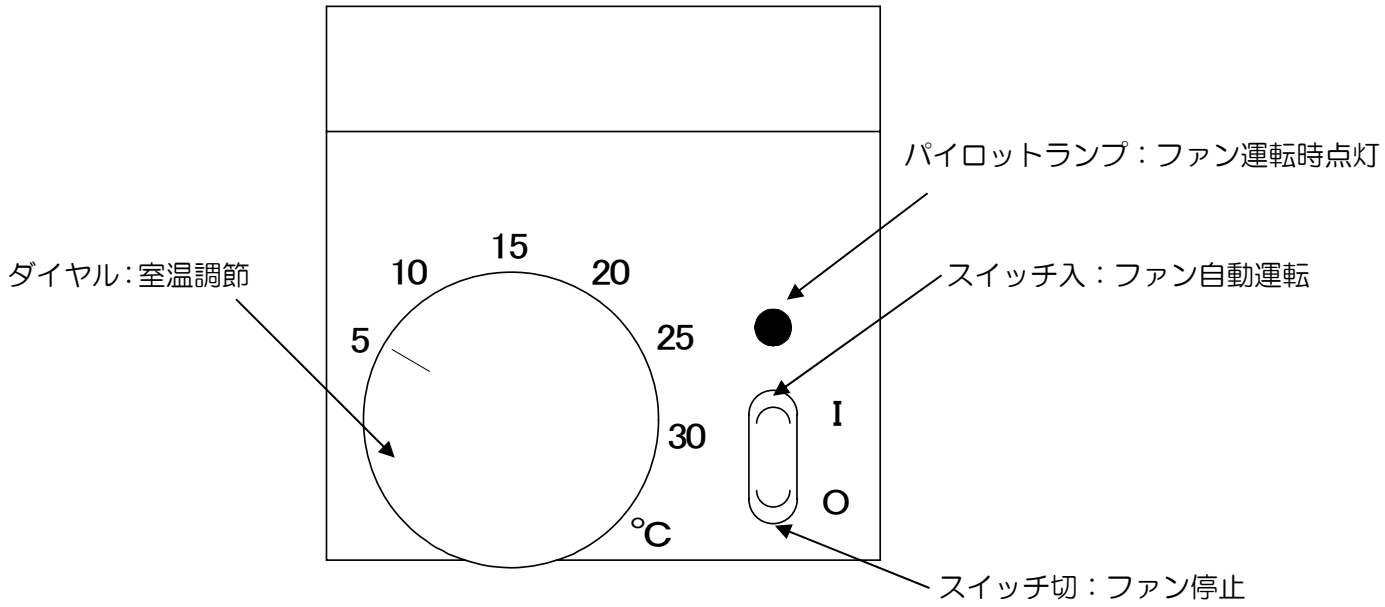


別売品　外付ルームサーモスタット

『ユニデール』には、オプション品として『外付ルームサーモスタット』があります。
この機器で室温を感知し、ファン運転をしますので、出窓下など周囲の壁（特に本体右下部分）との離れが狭い場合にご使用ください。
※　温度制御範囲は５℃～３０℃です。

＜操作方法＞

スイッチ	入	：ファン自動運転
	切	：ファン停止
ダイヤル		：室温調節
パイロットランプ		：ファン運転時点灯



『ユニデール』の上手な使い方

① ファンスイッチと室温コントローラー
- 外出時、就寝時や室温が高い場合は、ファンスイッチを「切」にしてください。
- 帰宅時など室温を一時的に上げたい場合は、室温コントローラーの温度を上げ、ファンスイッチを「入」にしてください。適温になりましたら室温コントローラーの温度を下げてください。

② 蓄熱コントローラー
- 蓄熱コントローラーは低めに設定すると経済的です。外気温に合せてダイヤルを調整し、ご使用ください。蓄熱量の設定は「蓄熱運転」（7 ページ）をご参照ください。

お手入れ

⚠ 警告

本体に水をかけない
漏電、感電、火災のおそれがあります。

⚠ 注意

本体表面の清掃は、必ず200V電源ブレーカーを「切」にし、本体表面を冷やす
感電、やけどのおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナーなどの溶剤、クレンザー、たわしは使用しない
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼する
感電、ケガのおそれがあります。

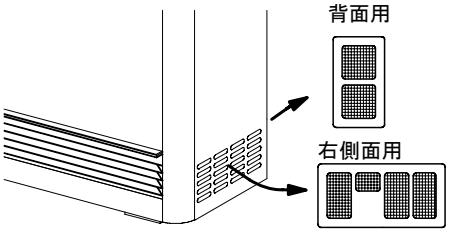
暖房器を末永くお使い頂く為にも、定期的にお手入れを行ってください。

【本体表面】
通常は乾いた柔らかい布で拭取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭取ってください。

【暖房器底部・周辺の隙間】
ホコリがたまりやすくなっていますので時々掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。

【吹出グリル】
ホコリがたまりやすくなっていますので時々掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。

【吸込みネット】
本体右側面と背面にマグネットでついていますので、取り外して掃除機でこまめにホコリやゴミを取り除いてください。
※ ホコリやゴミがたまった状態で運転を行うと、暖房能力の低下や、故障の原因となる場合があります。



長期間お使いにならない時

シーズンオフなど長期間お使いにならない時は、
・蓄熱量設定は「切」（7 ページ参照）
・ファンスイッチ「切」（8 ページ参照）
・200V 電源ブレーカーは「切」
にしてください。

定期点検

末永くお使い頂く為にも２年間に一度程度の機器点検をお勧めいたします。（有料）
機器の点検の依頼は、販売店もしくは工事店にご依頼ください。

故障かな？と思ったら

症状	調べる所	対処方法
暖房器が暖まらない。	200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。	200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。
	蓄熱量を低い設定にしていませんか。	蓄熱量設定を大きくしてください。（6、7 ページ参照）
	蓄熱時間帯にファンをまわし過ぎていませんか。	蓄熱時間帯は、ファンモードを「切」にするか、室温設定を低くしてください。（6、8ページ参照）
温風が出ない。	上記”暖房器が暖まらない”をまずご確認ください。	
	ファンスイッチが「切」になっていませんか。	ファンスイッチを「入」に設定してください。（6、8 ページ参照）
	室温コントローラーの設定が低くなっていませんか。	室温設定を高くしてください。（6、8 ページ参照）
	吹出しグリル、吸込みネットが詰まっていませんか。	吹出しグリル、吸込みネットの掃除をしてください。（10 ページ参照）
	暖房器前面が塞がれていませんか。	前面に置いてあるものを移動し、離隔距離を確保してください。（3 ページ参照）
お部屋が暖まらない。	上記”暖房器が暖まらない”、”温風が出ない”をまずご確認ください。	
	ドアや窓が開いていませんか。	ドアや窓を閉めてください。
室温が高すぎる。	室温コントローラーの設定が高すぎませんか。	適切な目盛りまで下げてください。（6、8 ページ参照）
	蓄熱量が適切に設定されていますか。	蓄熱量設定を小さい目盛にしてください。（6、7 ページ参照）
ブレーカーが落ちる	漏電又はショート。	直ちに使用を止めて販売店に連絡してください。

上記対応でも問題が解決しない場合は、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

次の場合は故障ではありません

症状	調べる所	対処方法
本体から音が鳴る。	蓄熱時やファン運転時の音ですか。	蓄熱時、ファン運転時を問わず、熱の影響による金属の熱膨張・収縮による音や、床との摩擦による音が鳴りますが、異常ではありません。
	ファン運転開始及び停止直後の音ですか。	
	「カチッ」という音ですか。	ヒーターへの通電を「入」「切」するスイッチ（リレー）動作音で、異常ではありません。
においが出る。	初めてお使いになる場合、長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。 この時、お部屋は十分に換気した上で運転してください。	

仕様

[8 時間蓄熱型]

型　番		VFMi 20J3	VFMi 30J3	VFMi 40J3	VFMi 50J3	VFMi 60J3	VFMi 70J3	VNDi36J3	VNDi50J3
定格電圧	蓄熱	単相AC200V（50/60Hz）							
	ファン	単相AC100V（50/60Hz）							
定格消費電力	蓄熱	2,000W	3,000W	4,000W	5,000W	6,000W	7,000W	3,600W	5,000W
	ファン	18W			28W			18W	28W
シーズヒーター本数		3本							
蓄熱レンガ数		12個	18個	24個	30個	36個	42個	30個	42個
最大蓄熱量 kWh (kcal)		16.0 (13,800)	24.0 (20,600)	32.0 (27,500)	40.0 (34,400)	48.0 (41,300)	56.0 (48,200)	28.8 (24,800)	40.0 (34,400)
有効蓄熱量 kWh (kcal)		14.4 (12,400)	21.6 (18,500)	28.8 (24,800)	36.0 (31,000)	43.2 (37,200)	50.4 (43,400)	25.9 (22,300)	36.0 (31,000)
全重量（本体＋レンガ）		98kg	137kg	176kg	215kg	254kg	293kg	191kg	261kg
外形寸法（幅×高さ×奥行） ( )内スペーサ含　mm		626×672×250(295)	776×672×250(295)	926×672×250(295)	1076×672×250(295)	1226×672×250(295)	1376×672×250(295)	1040×484×250(295)	1340×484×250(295)
200V配線用遮断器の定格電流		15A	20A	30A	40A	40A	50A	30A	40A
200V屋内配線の最小電線太さ（銅線）	VVケーブル	直径1.6mm (2.0mm^2)	直径1.6mm (2.0mm^2)	直径2.6mm (5.5mm^2)	直径3.2mm (8.0mm^2)	直径3.2mm (8.0mm^2)	(14.0mm^2)	直径2.6mm (5.5mm^2)	直径3.2mm (8.0mm^2)
	CVケーブル	2.0mm^2	2.0mm^2	2.0mm^2	3.5mm^2	3.5mm^2	5.5mm^2	2.0mm^2	3.5mm^2
機能		蓄熱量調整、放熱量調整							
安全装置		蓄熱温度過昇防止装置（自動復帰型・手動復帰型の２段階） 転倒時電源遮断スイッチ（手前15°以上傾斜）、吹出温度過昇防止装置							

[5 時間蓄熱型]

型　番		VFMi20J3-5	VFMi30J3-5	VFMi40J3-5	VFMi50J3-5
定格電圧	蓄熱	単相AC200V（50/60Hz）			
	ファン	単相AC100V（50/60Hz）			
定格消費電力	蓄熱	2,700W	4,000W	5,200W	6,400W
	ファン	18W			28W
シーズヒーター本数		3本			
蓄熱レンガ数		12個	18個	24個	30個
最大蓄熱量 kWh (kcal)		13.5 (11,600)	20.0 (17,200)	26.0 (22,400)	32.0 (27,500)
有効蓄熱量 kWh (kcal)		12.1 (10,400)	18.0 (15,500)	23.5 (20,200)	28.8 (24,800)
全重量（本体＋レンガ）		98kg	137kg	176kg	215kg
外形寸法（幅×高さ×奥行） ( )内スペーサ含　mm		626×672×250(295)	776×672×250(295)	926×672×250(295)	1076×672×250(295)
200V配線用遮断器の定格電流		20A	30A	40A	50A
200V屋内配線の最小電線太さ（銅線）	VVケーブル	直径1.6mm (2.0mm^2)	直径2.6mm (5.5mm^2)	直径3.2mm (8.0mm^2)	(14.0mm^2)
	CVケーブル	2.0mm^2	2.0mm^2	3.5mm^2	5.5mm^2
機能		蓄熱量調整、放熱量調整			
安全装置		蓄熱温度過昇防止装置（自動復帰型・手動復帰型の２段階） 転倒時電源遮断スイッチ（手前15°以上傾斜）、吹出温度過昇防止装置			

保証とアフターサービス

保証書（添付）

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

電気蓄熱暖房器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（１１ページ）に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	電気蓄熱暖房器
型番	■VFMi　20J3/30J3/40J3/50J3/60J3/70J3 ■VFMi　20J3-5/30J3-5/40J3-5/50J3-5 ■VNDi　36J3/50J3
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
お客様	お名前、ご住所、電話番号
修理希望日	年　　月　　日

MEMO

保 証 書

品名	電気蓄熱暖房器
型番	■VFMi 20J3　VFMi 30J3　VFMi 40J3　VFMi 50J3 VFMi 60J3　VFMi 70J3 ■VFMi 20J3-5　VFMi 30J3-5　VFMi40J3-5　VFMi50J3-5 ■VNDi 36J3　VNDi 50J3
お客様	お名前　　様 ご住所　（〒　　－　　） 電話番号　（　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	**お買い上げ日から本体１年間**
販売店	販売店名 住所 電話番号　（　　）　　－

サンプル

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記＜無料修理規定＞に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記＜無料修理規定＞をご参照ください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。

（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。

（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2．ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。

3．ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、販売元へご連絡ください。

4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

（イ）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

（ロ）　施工説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障及び損傷

（ハ）　お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷

（ニ）　火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷

（ホ）　車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷

（ヘ）　本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

（ト）　離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費

5．本書は日本国内においてのみ有効です。

6．本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7．販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。

※This warranty is valid only in Japan.

輸入元　株式会社ディンプレックス・ジャパン
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町３丁目８番３号　東硝ビル８階
TEL：03-6272-3792　FAX：03-5695-0271

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店
または下記窓口へお申し付けください。

取扱元：パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社

本社・アライアンス営業部
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番３号 TEL：06-6942-0953　FAX：06-6942-1040

北海道支店
〒060-0809 北海道札幌市北区北９条西２丁目１番地　TEL：011-736-2241　FAX：011-736-2244

東北支店
〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町３丁目６番地３号　TEL：022-239-5437　FAX：022-239-5438

首都圏・関東支店
〒136-0076 東京都江東区南砂２丁目 36 番 10 号 光陽ビル２階　TEL：03-5634-8416　FAX：03-5634-8462

中部支店
〒450-8611 愛知県名古屋市中村区名駅南２丁目７番 55 号　TEL：052-561-3288　FAX：052-561-3299

近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番３号　TEL：06-6947-8851　FAX：06-6947-8873

中四国支店
〒730-8577 広島県広島市中町７－１　パナソニック電工ビル４階　TEL：082-504-4509　FAX：082-504-4383

九州支店
〒810-8530 福岡県福岡市中央区薬院３丁目１番 24 号　TEL：092-523-9744　FAX：092-523-9717

システム支店
〒136-0076 東京都江東区南砂２丁目 36 番 10 号 光陽ビル２階　TEL：03-5634-8562　FAX：03-5634-8462

輸入元：株式会社ディンプレックス・ジャパン

本社・首都圏営業所
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町３丁目８番３号　東硝ビル８階　TEL：03-6272-3792　FAX：03-5695-0271

北海道営業部
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目２番 23 号　TEL：011-783-7106　FAX：011-783-7108

北東北営業所
〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北１丁目 19 番26 号　アーバンコート 102 号室　TEL：019-681-3097　FAX：019-681-3098

南東北営業所
〒989-2422 宮城県岩沼市空港南２丁目２番２号　TEL：0223-25-5804　FAX：0223-25-5805

北陸営業所
〒939-8094 富山県富山市大泉本町１丁目４番 14 号　パレット大泉１階　TEL：076-420-7617　FAX：076-420-7618

北関東営業所
〒370-0045 群馬県高崎市東町１１７番１号　フローラサクラ 103 号室　TEL：027-384-8666　FAX：027-384-8668

大阪営業所
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町１番 31 号 由武ビル８階　TEL：06-6193-5365　FAX：06-6193-5366

長野出張所
〒380-0916 長野県長野市大字稲葉字中千田沖 2188 番１号　パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社内
TEL：026-223-6722　FAX：026-223-1696

名古屋出張所
〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町３１番２６号　パナソニック電工リビング中部株式会社内
TEL：052-979-7970　FAX：052-979-7971

九州出張所
〒810-8530 福岡県福岡市中央区薬院３丁目１番 24 号　パナソニック電工ビル6階パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社内
TEL：092-523-9557　FAX：092-523-9717

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック電工ホームエンジニアリング（株）および　(株)ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

①上記２社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を上記２社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、上記２社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。
②上記２社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

MA060010H 10/08/10